

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 都島友の会

〒 534-0021 大阪市都島区都島本通 3-4-3

事業報告の内容を補足する重要事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

平成 29 年度事業報告書(目次)

I	平成 29 年度本部事業報告	1
II	事業の内訳	9
III	事業別報告	
	1. 第一種社会福祉事業	
	(1)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	10
	2. 第二種社会福祉事業	
	(1)放課後児童健全育成事業《都島児童館》	12
	(2)認定こども園・保育所	14
	(3)児童厚生施設・子育て支援事業	22
	(4)児童発達支援センター	24
	《こども発達サポートステーションそれいゆ》	
	(5)児童発達支援・放課後等デイサービス	26
	(6)老人福祉施設 《友渕地域在宅ステーションひまわり》	28
	(デイサービス・総合相談窓口)	
	(7)老人福祉施設 《特別養護老人ホームひまわりの郷》	30
	(短期入所生活介護・社会貢献)	
	3. 公益事業	
	(1)居宅介護支援事業	31
	(2)ひまわりⅡ	32
	(3)比嘉正子地域貢献事業研修センター	33
	4. 収益事業	
	(1)賃貸アパート(あやなす荘)	34
	(2)賃貸ビル(福祉ビル)	34
	5. 研修報告	
	人権研修、役員研修、外部研修、法人内研修	35

I 平成 29 年度本部事業報告

○新定款に基づく運営

改正社会福祉法の施行に伴い、新定款ほか改正された経理規程等を遵守し本部業務を推進した。平成 29 年 4 月 1 日に就任した評議員により 6 月 16 日に評議員会が開催、新役員(理事・監事)が選任され、改正法に基づく業務執行体制がスタートした。

○都島桜宮保育園増築・改修工事

都島桜宮保育園の増築・改修工事は、入札業務を経て平成 29 年 8 月 1 日に着手し、平成 30 年 3 月 23 日に完成。4 月 1 日から、認可定員は本園 198 名、分園 25 名、計 223 名となった。

○都島東保育園・こども発達サポートステーションそれいゆ建替整備

老朽化に伴う両施設(複合施設)の建替整備については、かねてより大阪市と協議を進めてきたところであるが、都島東保育園について、平成 30 年度の大阪市民間保育所建替え整備補助事業として申請。平成 30 年 3 月 27 日に開催された法人選考委員会で審査され適正と認められたところである。平成 30 年度・31 年度にわたり建替整備を推進する。

なお、都島東保育園は工事期間中、都島桜宮保育園増築の際に整備した仮園舎を活用する。

○児童発達支援事業の開始

こども発達サポートステーションそれいゆの建替えに伴う仮園舎として賃借した建物で、それいゆが移転するまでの間、平成 29 年 11 月 1 日より、新たに児童発達支援事業「こども発達サポートせいいく」を開始した。

○施設整備(高齢者施設)

特養ひまわりの郷入居者の介護度の重篤化及び衛生管理のため大浴場の供用を廃止し、新たに特殊浴槽 2 基を購入した。結果光熱水費(ガス代)の削減につながったところである。

○人材確保と保育士の処遇改善

採用事務は、保育士・介護士養成校への訪問、就職フェアへの参加、施設見学会・説明会の開催、求人サイトの活用等、学生へのリクルート活動に努め

た。また人材確保と離職防止のため、平成 29 年 4 月から新規採用者を対象とする保育士宿舍借上げ事業を開始、平成 30 年 3 月からは採用 10 年未満の保育士に対する同事業を開始した。また保育士処遇については、平成 30 年 4 月に、処遇改善手当の増額を図ったところである。

○評議員会

平成 29 年 6 月 16 日 平成 30 年 3 月 30 日
議案は別紙のとおり

○理事会

平成 29 年 5 月 16 日 5 月 30 日 6 月 16 日 7 月 11 日 7 月 19 日
9 月 19 日 10 月 3 日(決議の省略) 12 月 22 日
平成 30 年 2 月 20 日 3 月 23 日
議案は別紙のとおり

○評議員選任・解任委員会

平成 30 年 1 月 10 日開催
田中幸徳(前)評議員ご逝去に伴う後任評議員を選任

○経営会議 施設長会

・毎月 1 回開催

○園長会 主任会 (副園長会 さつき会)

・随時開催

○法人部会

・法人内部会
採用検討委員会 看護師連絡会 リスクマネジメント委員会 他
・法人外部会
私立保育園連盟の各部会 府知的障害児者施設連絡協議会
市老人福祉施設連盟 区社会福祉施設連絡会
府社協保育部会 他
※活動内容・会議結果は毎月開催の施設長会で報告

○監 査

・法人監事監査(西平監事・松野監事) 平成 29 年 5 月 24 日

- ・社会福祉施設(幼保連携型認定こども園)に係る指導監査(こども青少年局)
平成 30 年 3 月 6 日～7 日
- ・社会福祉施設(特養ひまわりの郷)に係る指導監査(福祉局)
平成 29 年 11 月 1 日
- ・児童発達支援センターそれいゆ実地指導(福祉局) 平成 29 年 11 月 28 日
- ・社会福祉法人指導監査ヒアリング(大阪府) 平成 29 年 9 月 6 日

○苦情解決第三者委員会

- ・大阪 平成 29 年 10 月 26 日
- ・沖縄 平成 29 年 12 月 14 日

○人 事

- ・経験、適正に応じた法人内異動の実施
- ・平成 30 年 4 月 1 日付辞令交付(正規職員) 昇格・異動・新採用 計 37 名
- ・平成 30 年 4 月 1 日新規採用者(計 22 名)
保育教諭 7 名 保育士 9 名 放課後児童支援員 4 名 介護職員 2 名
- ・経験、技能に応じ、児童施設に副主任・リーダーの配置と処遇

○研 修

- ・比嘉正子地域貢献事業研修センターで、保育士の専門性が評価される仕組みの構築に向けた研修を開始、平成 30 年度の保育士等キャリアアップ研修事業に繋げる
- ・各施設における研修
- ・大阪府社会福祉協議会などが実施する外部研修へ参加
※詳細は 35 頁以降に掲載。

○表 彰

- (福)日本保育協会主催 保育所保育実践研究・報告
- ・奨励賞 幼保連携型認定こども園 都島児童センター
「サーキット遊びを通しての育ち」
- 大阪市社会福祉施設従事者 市長表彰 2 名 感謝状 12 名

○福利厚生

- ・比周会主催懇親会 平成 29 年 7 月 14 日
平成 29 年 12 月 22 日
- ・非常勤職員慰労会と永年勤続者表彰 平成 29 年 11 月 25 日

・児童施設リーダー懇親会

平成 29 年 5 月 12 日

・クラブ活動への助成(バレーボール フットサル 太鼓)

○財 務

・新会計基準のもと、適正な財務管理に努めている

・法人の財務状況について法人ホームページで公表

監事監査報告書 財務情報 事業報告書 現況報告書

○広報活動

・広報誌ゆんたく

平成 29 年 8 月発行(27 号) 平成 30 年 3 月発行(28 号)

各 3500 部 保護者 利用者家族 地域 社会福祉関係他に配布

・法人及び各施設ホームページを随時更新

・認定こども園・保育園から毎月「園だより」を配布

・施設行事の地域への周知、参加呼びかけ

・法人案内誌「Together with」を活用したリクルート活動

・施設長から理事長 事務局長へメールによる週報告(平成 30 年度から各施設へも報告)

平成29年度評議員会開催状況

開催年月日 出席状況	議 案 内 容
29. 3. 30	①平成28年度補正予算(案)についての意見聴取
評議員 18	②平成29年度事業計画(案)についての意見聴取
監事 2	③平成29年度収支予算(案)についての意見聴取
	④都島桜宮保育園仮園舎の契約についての意見聴取
	⑤規程・規則の制定及び改正(案)についての意見聴取
	⑥役員の選任について
29. 6. 16	①平成28年度計算書類及び財産目録の承認について
評議員 7	②平成28年度事業報告の報告について
理事 4	③新役員の選任について
監事 2	④役員の報酬等について
30. 3. 30	①平成29年度補正予算(案)について
評議員 5	②平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
理事 3	③定款変更について(公益事業の追加)

※評議員定数8（平成29年4月1日以降）

平成29年度理事会開催状況

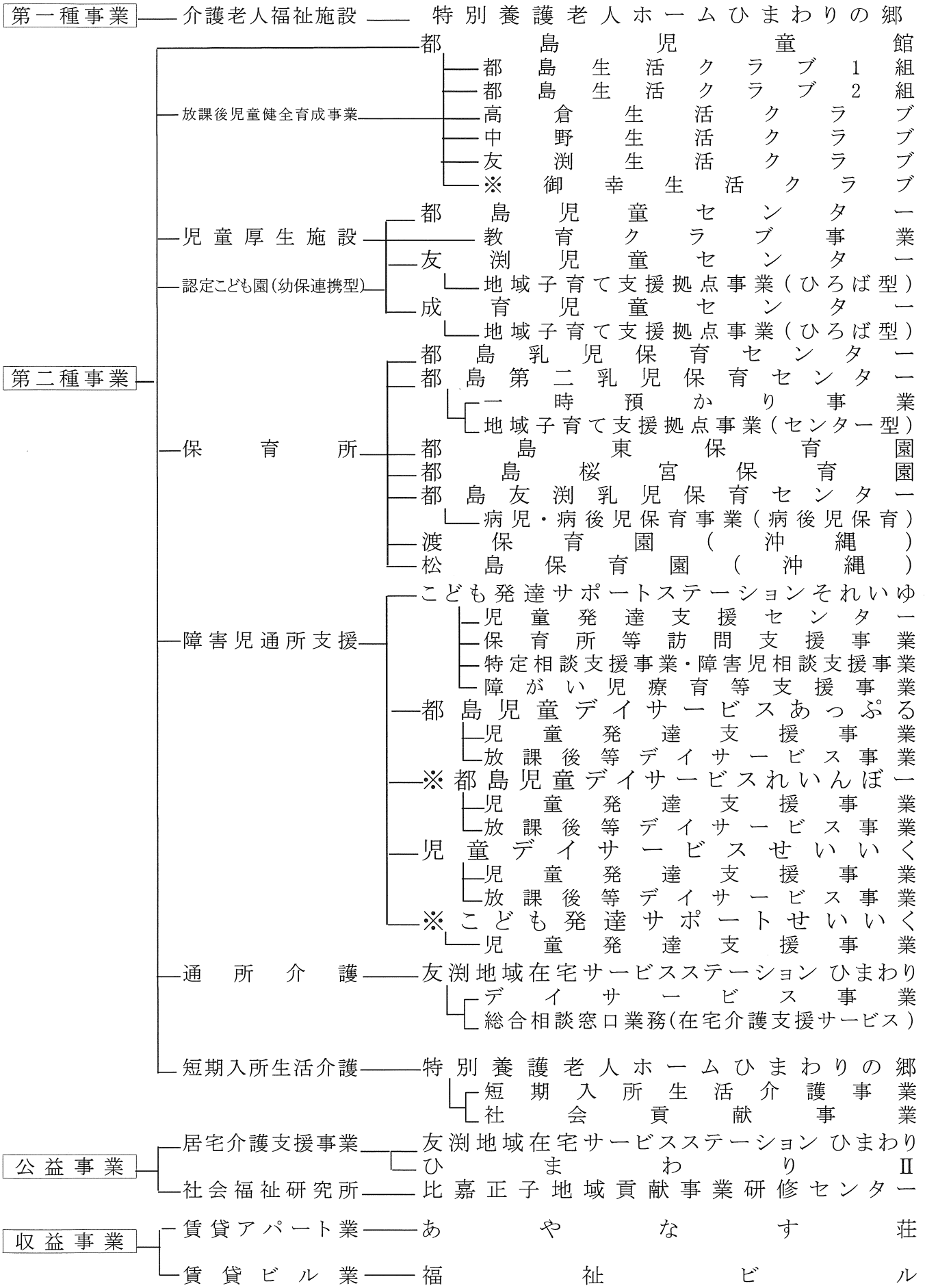
開催年月日 出席状況	議 案 内 容
29. 3. 30	①平成28年度補正予算(案)について
理事 11(2) 監事 2	②平成29年度事業計画(案)について
※()は書面出席	③平成29年度収支予算(案)について
	④都島桜宮保育園仮園舎の契約について
	⑤規程・規則の制定及び改正(案)について
	⑥役員(理事・監事)の選任について
29. 5. 16	①都島桜宮保育園増築工事に係る工事入札参加業者募集要項について
理事 5(欠2) 監事 1(欠1)	
29. 5. 30	①平成28年度事業報告の承認について
理事 6(欠1) 監事 1(欠1)	②平成28年度計算関係書類及び財産目録について
	③新役員について
	④定時評議員会の日時・場所・議案の決定について
	⑤(独)福祉医療機構からの借入について(都島桜宮保育園)
29. 6. 16	①理事長及び常務理事の選定について
理事 6(欠1) 監事 2	②都島桜宮保育園増築工事に係る工事入札参加業者の決定について
	③都島東保育園建替整備意向について
29. 7. 11	①予定価格及び最低制限価格の決定について(都島桜宮保育園増築工事)
理事 5(欠2) 監事 1(欠1)	(報告)デイサービスひまわりの事象について
29. 7. 19	①都島桜宮保育園増築工事契約の締結について
理事 6(欠1) 監事 1(欠1)	②虐待防止対応規程について
29. 9. 19	①都島桜宮保育園設置認可内容及び確認内容の変更について
理事 6(欠1) 監事 1(欠1)	②都島東保育園設置認可内容及び確認内容の変更について
	③児童発達支援事業の開始及び建物賃貸借契約の締結について
	④こども発達サポートステーションそれいゆ 通園バスの購入及び補正予算について
	⑤虐待防止対応規程について
	(報告)大阪府指導監査ヒアリング結果について
	都島桜宮保育園増築工事進捗状況
	複合施設について
29. 10. 3	①苦情解決第三者委員の選任について
決議の省略 (理事全員の同意)	
29. 12. 22	①評議員選任候補者の推薦について
理事 7 監事 2	②評議員選任・解任委員会の開催について
	③複合施設(都島東保育園・こども発達サポートステーション・東都島老人憩の家)建替え整備について
	④役員等慶弔見舞金規程について
	⑤規程の改正について
	(報告)理事長及び常務理事の職務の執行状況

30. 2. 20	①認定こども園友渕児童センター改修工事について
理事 6(欠1)	②保育園用地の取得について
監事 1(欠1)	
30. 3. 23	①認定こども園友渕児童センター改修工事の契約について
理事 7	②平成29年度補正予算(案)について
監事 2	③保育士等キャリアアップ研修事業の開始及び定款変更について
	④定員変更について
	⑤平成30年度事業計画(案)について
	⑥平成30年度収支予算(案)について
	⑦規程及び規則の改正について
	⑧人事異動(案)について
	⑨評議員会の招集について

※役員定数(平成29年4月1日以降)

理事 7 監事 2

II 事業の内訳



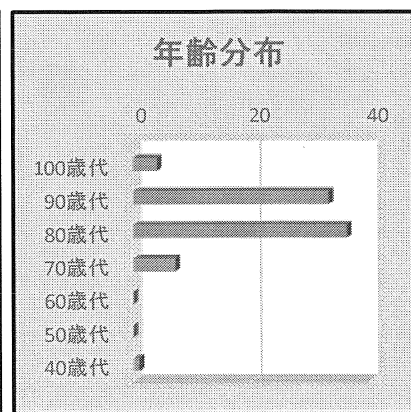
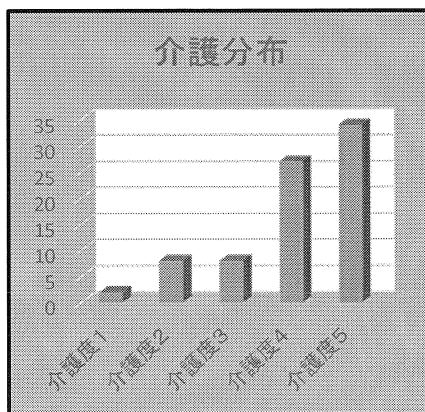
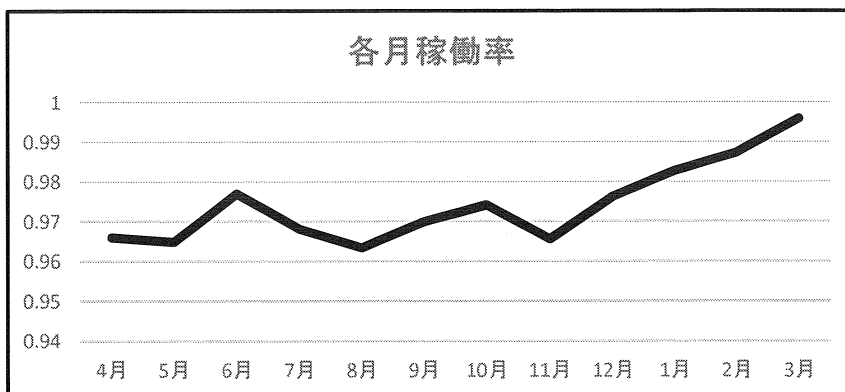
※29年度より事業開始

1. 第一種社会福祉事業(高齢者)

(1)特別養護老人ホーム ひまわりの郷

入居定員数	80名
短期定員数	10名
利用者延数	32,002人
年間稼働率	97.4%
男性介護度	4.00
女性介護度	4.06
平均介護度	4.05
男性平均年齢	86.00歳
女性平均年齢	88.64歳
平均年齢	88.25歳
最高年齢	103歳
最若年齢	47歳
インシュリン	3名
胃瘻	6名

※H30.4現在



職員数

施設長	常勤職員								非常勤職員			合計
	生活相談員	機能訓練指導員	介護支援専門員	管理栄養士	医師 看護師	介護職員	事務職員	計	常勤並	短時間	計	
1	1	兼1	2	1	3	28	3	39	6	20	26	65

平成30年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
介護浴槽用給湯設備工事	2,667,600
昇降式介護浴槽一式	4,772,520
車椅子介護浴槽一式	2,997,480
浴室暖房機器	212,846
カラオケ機器	108,000
5件	10,758,446

主たる修繕

レントゲン車点検修理
 非常照明バッテリー交換
 業務用衣類乾燥機修理
 厨房排気ファン修理
 特殊浴槽修理

コメント（特養）

(1) 入居者の安全確保

感染症防止については、研修を年2回実施し、インフルエンザの流行期には、いち早くマスクの着用や手洗いの実施を呼びかけるなどしながら、本年度は感染を防ぐことができました。また、事故防止の観点から、ヒヤリハット・事故報告書について、職員会議・フロアー会議で内容を分析したり、回覧で情報を共有化しました。今後も地道に事故の件数の軽減につなげていき『入居者の安全確保』を実践したいと思えます。

(2) 収入の確保とコスト削減

収入の確保の観点から、入居率情報を職員間で共有化しました。年度の後半では、稼働率99.5%という形に結びつきました。また、コスト削減では、設備の見直し(エアコン入替・特浴機器入替)により、熱光熱費を大きく削減できました。このほか、おむつの見直し、全自動洗濯機(4台)の補助金導入など、サービスの質をさげずに、コストを削減する方策を絶えず実施しました。

(3) 介護福祉士の資格取得支援と加算体制の確保

介護福祉士の試験について、2名が受験しましたが、2名とも合格しました。また、喀痰吸引についても、少人数でも増員、登録のできるよう、企画しておりますが、今年度中では、増員ができませんでした。

(4) 「福祉避難所」としての災害に備えた準備と訓練

毎年、避難訓練・消火訓練を年2回実施しておりますが、24時間体制の特養の場合には、夜間を想定した避難訓練も実施しています。さらに、本年は、都島区主催の「地域合同防災訓練」に参加し、実施に「緊急入所施設(福祉避難所)」としての受け入れ訓練も行いました。反省点も多く、災害への準備の重要性を感じたところです。

(5) 障がい施設(それいゆ)との交流を通しての複合サービスへの地盤固め

1月27日に、東保育園・それいゆとの合同で、「大阪市地域福祉施設協議会バザー」を催しました。当日もさることながら、準備の段階で、互いの職員が行き来して、行事を通じた交流ができました。複合サービス自体は、すぐに実施はできなくなりましたが、少しでも交流できたように思います。また、バザーを通して、地域への貢献もできました。

(6) 看取りに関する加算取得の検討と研修の実施

看取りについて、本年は職員の認識・理解を深めることに重点をおき、外部研修(3回)内部研修(6回)を行いました。特に、看取りを実践している特養の施設長をお呼びして、その現場の様子をお聞きできたことは、職員に看取りを行う上での意欲の向上を図ることができたと思います。平成30年度介護保険改正では、看取りはひとつの焦点となっており、次年度の実施目標とします。

(7) 第三者評価の受審 実施できませんでしたので、平成30年度の実施目標とします。

(8) 人材の確保

採用については、学校訪問を2件、就職フェアを4件実施しましたが、2名の採用に留まりました。介護分野の新卒採用は困難を極めており、養成校自体が閉鎖するほどに、人的な供給がありません。それに輪をかけて、事業所の増加という事態もあります。ひまわりの郷では、専門学校の卒業生はいうまでもありませんが、高校生も積極的に採用し、数年後の成長を楽しみに、職員全体でその育成に取り組んでいます。そんな中、大阪市老人福祉施設連盟との連携による「技能実習生」の受け入れ組合への参画や、近隣にあります介護福祉士養成校との連携によるベトナム人留学生の育成なども模索しているところです。いずれにせよ、介護だけでなく、人を育てるという難しさ・楽しさを日々感じているところです。

2. 第二種社会福祉事業

(1)都島児童館

学年・学校別人数(平成29年4月1日登録児童数) -都島生活クラブ1・2組

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
都島小学校	14	13	8	3	8	5	51
東都島小学校	5	7		2	1	1	16
							0
合計	19	20	8	5	9	6	67

学年・学校別人数(平成29年4月1日登録児童数) -高倉生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
友渕小学校	17	9					26
							0
							0
合計	17	9	0	0	0	0	26

学年・学校別人数(平成29年4月1日登録児童数) -中野生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
中野小学校	6	9	6	1		2	24
雲雀ヶ丘小学校						1	1
							0
合計	10	9	6	1	0	3	25

学年・学校別人数(平成29年4月1日登録児童数) -友渕生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
友渕小学校	13	5	6	6	5		35
							0
							0
合計	13	5	6	6	5	0	35

学年・学校別人数(平成29年4月1日登録児童数) -御幸生活クラブ

学年 学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
高倉小学校	17	6	2	1	4		30
							0
							0
合計	17	6	2	1	4	0	30

職員数

職員数		都島1・2	高倉	中野	友渕	御幸	計
常勤	館長	1					1
	支援員	2		1	1	1	5
	補助員						0
非常勤	支援員	1	3	1	1	1	7
	補助員	5	1	1	4	2	13
	その他						0
計		9	4	3	6	4	26

固定取得価格一覧

摘要	金額
看板設置工事(御幸生活クラブ)	138,240
1 件	138,240

主たる修繕

空調洗浄(各生活クラブ)
インターホン取付(都島生活クラブ)

コメント(都島児童館)

新しい職員集団になって2年目。職員自ら「勉強会」の時間を設け、積極的に保育内容の向上を図る努力を行っているが、生活クラブが、保護者の安心と児童の健全な育成を支援する生活の場として、子どもたちにとって居心地の良い場所となれるよう、大阪人間科学大学の中村かおり先生を講師に迎え、「放課後児童クラブでの保育のあり方」を、職員全員で学ぶ機会を作り、職員相互の認識の共有化を図った。また生活クラブでの日々の様子を、ホームページだけでなく「フェイスブック」で発信するなど、保護者の方の安心を得られるよう努めた。

今後も研鑽をつんでいくとともに、提出書類の作成等をはじめ事務管理能力の向上を図ってまいりたい。

	事業計画に基づく取組み・成果	課題・改善点
都島 1 ・ 2	<p>1組と2組に分かれているが、実際は同じ建物で保育するため、児童数が多くて状況把握するのに難しい部分があった。しかし、学童がどうあるべきか、子どもを管理する場所ではなく、生活する場所としてあるべきと考え、子どもの力を信じて取組みを行った。広い部屋を有効的に使い、基地作りや各部屋での子どもたちのようすの違いが新たな可能性が広がったように感じる。</p> <p>また、非常勤の職員と情報共有を行い、保育に活かしていけるように心掛けた。特に夏休みなどイレギュラーが起りやすいときに的確に連携をしていけるよう努めることができた。</p>	<p>大勢に注目をしすぎて、そのような遊びに加わらない子が、自分たちなりに楽しめているかの配慮や遊びの中でのトラブルに対しての配慮が同じになりがちで、関わり方の幅を生み出すことができないときがあったのが大きな課題である。</p> <p>また、職員とのコミュニケーション不足な部分もあった。情報共有は意識的に行うことができていたが、保育についてや仕事内容の不明確さがあり、非常勤職員が困惑することもあり、的確に分かりやすくする必要があった。</p>
高倉	<p>今年度は1・2年生のみの構成となっていたので、子どもたちだけで自分たちの生活を作り上げることは難しいと考え、大人(支援員)が子どもたちに対して様々な取り組みの提案を積極的に行う方法を取るようにした。さらに、こちらからだけでなく、子どもたちと大人が共に楽しい空間を作り出せるように努力した。</p> <p>また、施設の内装の美化などにも力を入れ、保護者への安心感や子どもたちの生活の質の向上を目指すことにも力を注いだ。</p>	<p>子どもたちの生み出す力を引き出せたとは思われるが、まだまだ大人の手が加わることが多かったように感じられる。特に2年生の女子グループは、取り組み始めるとすごい動きを見せてくれるが、子どもたちだけで遊ぶということが少し苦手な場面があった。</p> <p>しかし、来年度からは本校に通うことになり、高学年との活動が増えるので、今後の成長を期待したい。</p>
中野	<p>保護者への配布物を徹底させるため、お手紙ポケットを設置することで、配り忘れの問題に一定の成果を得た。子ども同士のケンカなど、日々の子どもの様子をしっかりと伝えきれていないことがあり、保護者に不安を与えることがあった。普段から職員ミーティングの徹底を行い、子ども一人ひとりの情報の共有、職員全員が積極的な保護者対応ができるよう心掛けた。</p>	<p>今年度、熱中症対策のため、夏休み中における活動の大半を室内で過ごすことになり、活動に幅を持たせる必要性を痛感した。来年度の取り組みとして、地域の体育館を利用する等、屋内での活動施設を確保したい。</p>
友洲	<p>子どもが自由に自分たちで考えて行動できる環境づくりを心がけたことで、子どもたち自ら遊びを考えたり、行事を企画したりすることができた。</p> <p>最低限のルール(手洗い・うがい・使ったものは片づける・やることをやってからする)</p>	<p>相変わらず、「手洗い・うがい」「宿題」など、子どもたちがする前から言うことがあったので、先に言わずに子どもたち自ら進んでできるように見守る。</p> <p>大人の都合で振り回すことがあったのでなくしたい。</p> <p>職員同士の情報共有、コミュニケーションが不足、他の職員にも迷惑をかけた。</p>
御幸	<p>まずは、放課後児童クラブは遊びの場であること。子ども自身が楽しむこと。子どもが主役になることを目的楽しむこと。子どもが主役になることを目的にスタートさせた。</p> <p>当初は、子ども自身も楽しんでいただいていたようだが、時間がたつごとに、子どもたちからもっと大人に何かしてほしいと、大人の言葉を待っているような行動が多く感じられた。一人で遊ぶのが苦手な子や自分から意見を言えない子たちへのサポートが足りなかったと思う。</p>	<p>子どもと保護者に目的をしっかりと伝えていきたい。</p> <p>様子を伺うのも大事だが、大人に守られている環境で過ごしている安心感と、今以上に支援員から一人ひとりに声をかけ、コミュニケーションをはかり、ストレスがないように過ごしてもらいたい。</p>

(2)認定こども園・保育所

委託児童数（年間延べ人数）

※下段()は障害児数再掲

園名	年		4月初日 在園児数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	利用定員									
認定こども園 都島児童センター	1号	15	2			4	3	35		42
	2.3号	316	287	148	256	329	912	964	888	3,497
		331	289	148	256	333	915	999	888	3,539
認定こども園 友渕児童センター	1号	15	5				65	10	11	86
	2.3号	256	235	118	328	516	655	618	625	2,860
		271	240	118	328	516	720	628	636	2,946
認定こども園 成育児童センター	1号	6	3				15	24		39
	2.3号	90	89	116	203	199	189	156	215	1,078
		96	92	116	203	199	204	180	215	1,117
都島乳児保育センター	3号	60	60	297	497					794
都島第二乳児保育センター	3号	60	70		164	594				758
都島東保育園	2.3号	120	133	137	246	257	324	312	355	1,631
都島桜宮保育園	2.3号	149	164	191	321	393	366	384	324	1,979
都島友渕乳児保育センター	3号	30	30	90	141	156				387
渡保育園	2.3号	90	73	35	205	212	220	168	156	996
松島保育園	2.3号	100	97	35	215	216	235	252	240	1,193
計		1,307	1,248	1,167	2,576	2,876	2,984	2,923	2,814	15,340
				(0)	(12)	(0)	(12)	(72)	(96)	(192)

年度途中入所受入れ状況

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都島児童センター			1	1		4			3	1	4	1		15
友渕児童センター			2	2	1	1	2		3	1		1		13
成育児童センター			1				1		1					3
都島乳児保育センター				1	1	2	3	1	2	2				12
都島第二乳児保育センター							1							1
都島東保育園				1	1	2	2		1	1				8
都島桜宮保育園								2	1					3
都島友渕乳児保育センター				1				2	1	1	1			6
渡保育園			5	3	3	1								12
松島保育園				2	1									3
計		0	9	11	7	12	7	5	12	6	5	2	0	76

延長保育利用延べ人数

園名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都島児童センター		924	916	1,086	899	838	949	1,016	912	929	807	929	981	11,186
友渕児童センター		642	644	724	640	624	681	708	713	746	577	588	720	8,007
成育児童センター		233	241	262	250	202	247	253	245	253	200	195	225	2,806
都島乳児保育センター		34	50	55	59	53	51	68	50	40	55	50	81	646
都島第二乳児保育センター		110	112	119	96	80	82	75	58	69	85	109	84	1,079
都島東保育園		361	330	397	359	269	386	419	443	418	385	372	384	4,523
都島桜宮保育園		510	481	588	481	469	526	566	551	543	421	465	502	6,103
都島友渕乳児保育センター		52	18	36	25	23	32	28	28	36	25	24	22	349
渡保育園		67	74	99	123	104	99	109	76	89	90	87	119	1,136
松島保育園		301	318	383	349	376	323	366	366	354	347	342	380	4,205
計		3,234	3,184	3,749	3,281	3,038	3,376	3,608	3,442	3,477	2,992	3,161	3,498	40,040

職員数(子育て支援事業含む)

(下段は無資格)

	常勤職員								非常勤職員			合計
	施設 園長	主任 副園長 保育士	主幹 保育教諭	保育 士	栄養 士	調理 師	その 他	計	常 勤 並	短 時 間	計	
認定こども園 都島児童センター	1	1	1	21			1	25	7	8	15	46
										6	6	
認定こども園 友渕児童センター	1	1	2	17			1	22	11		11	42
									3	6	9	
認定こども園 成育児童センター	1	1	1	7				10	3	11	14	29
									1	4	5	
都島乳児保育 センター	1	1		14	1			17	4	3	7	30
									2	4	6	
都島第二乳児 保育センター	1	1		15				17	3	7	10	27
											0	
都島東保育園	1	1		14			1	17	6	2	8	30
									1	4	5	
都島桜宮保育園	1	1		17			1	20	7	3	10	36
									2	4	6	
都島友渕乳児 保育センター	1	1		5				7	4	6	10	18
										1	1	
渡保育園	1	1		10		2		14	1	2	3	17
											0	
松島保育園	1	1		10		2		14	1	2	3	17
											0	
合計	10	10	4	130	1	4	4	163	47	44	91	292
									9	29	38	

平成30年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

都島児童センター		友渕児童センター	
舞台袖照明設備工事	136,080	防水ワイヤレスアンプ	150,000
AED一式	316,440		
2 件	452,520	1 件	150,000

成育児童センター		都島乳児保育センター	
雑排水管ポンプ	453,600	冷蔵庫	189,540
汚水槽ポンプ	491,400	厨房室空調設備一式	918,000
テラステーション	136,643	タッチパネル機一式	203,688
防滴ワイヤレスアンプ	160,000		
4 件	1,241,643	3 件	1,311,228

都島第二乳児保育センター		都島東保育園	
消化呼水槽取替	174,960	給湯器	213,840
複合機一式	432,000	ワイヤレスアンプ	158,000
タッチパネル機一式	209,088		
スライドテント	141,200		
4 件	957,248	2 件	371,840

都島桜宮保育園		都島友渕乳児保育センター	
仮園舎建物一式	67,663,431	なし	
仮園舎外構工事	7,945,569		
本園増改築工事	283,932,000		
本園備品購入一式	3,590,070		
AED一式	316,440		
5 件	363,447,510	0 件	0

渡保育園		松島保育園	
なし		厨房スポットエアコン	486,000
		パソコン	118,584
0 件	0	2 件	604,584

主たる修繕

<p style="text-align: center;">都島児童センター</p> <p>収納家具及び建具転倒落下防止工事 モケット大型遊具修繕他 保育室移動に伴うロッカー移設・増設工事</p>	<p style="text-align: center;">友渕児童センター</p> <p>収納家具及び建具転倒落下防止工事 排水管洗浄 空調室内機洗浄</p>
<p style="text-align: center;">成育児童センター</p> <p>雑排水管他清掃 事務所空調修理</p>	<p style="text-align: center;">都島乳児保育センター</p> <p>収納家具及び建具転倒落下防止工事 排水管清掃 エアコン修理 空調室内機洗浄 スチームコンベクションオープン修理 ガス回転釜修理</p>
<p style="text-align: center;">都島第二乳児保育センター</p> <p>収納家具及び建具転倒落下防止工事 階段床張替え工事他 空調室内機洗浄</p>	<p style="text-align: center;">都島東保育園</p> <p>収納家具及び建具転倒落下防止工事 厨房機器保全修理 食器消毒保管庫修理 排水管洗浄 給食室換気扇修理</p>
<p style="text-align: center;">都島桜宮保育園</p> <p>冷凍冷蔵庫修理 食器洗浄機修理 大型遊具鉄部再塗装</p>	<p style="text-align: center;">都島友渕乳児保育センター</p> <p>空調室内機洗浄 車両整備他</p>
<p style="text-align: center;">渡保育園</p> <p>各所修繕</p>	<p style="text-align: center;">松島保育園</p> <p>グリストラップ取替 避難誘導等装置取替 天井扇風機取替</p>

コメント(認定こども園)

<p>都島児童センター</p>	<p>○取組・成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本保育協会主催の第12回「保育実践研究・報告」において、「サーキットあそびを通しての育ち」について応募し、実践報告部門で奨励賞を受賞。当園が長年取り組んできたサーキットあそびが子どもたちの発育にどのように影響し、健全な発達を促すことができているのかを振り返ることが出来た。 ・教育時間充実に向け5歳児にプログラミング活動を導入し、チームで協力する・ルールを守る等、小学校就学に向けて学校教育の基礎を培う機会を設けることが出来た。また、職員も教育時間について時間配分を考えながら指導することを心がけた。 ・乳児保育については一人ひとりのリズムを大切に保育し、家庭と連携を密にとりながら丁寧に保育することができた。 ・職員の状況を考慮しながら年度途中入所児の受入れ(特にきょうだい関係の0歳児)をスムーズに行えた。 ・AEDを園内に設置し、研修を行うことで知識を深め、安全に対する意識を強めることができた。 ・職員が専門職としてスキルアップできるよう研修センターと連携して研修に取り組んできた。研修で習得した知識や技能を実践の現場で活かせるようにしていきたい。 ・勤務時間内の終業を目指し勤務体制・職務内容を見直してきたが、業務量が多く、時間内に終わることが難しい状況が続いた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度終了までに幼稚園教諭免許更新が必要な職員に対して、計画的に取得または更新のための講習が受けられるような体制を整える。(まだ一人も免許更新が出来ていない状態である) ・労働時間内の終業を目指し、職務内容・職務分担を見直すとともに、職員一人ひとりが自覚を持ち意識を変えることが必要。ノー残業DAYの徹底。有休消化率を50%まで引き上げる。 ・危機管理(アレルギー児への対応・事故・防災等)について全職員(正規・非正規含め)で情報を共有し、対応を強化していく。
<p>友渕児童センター</p>	<p>理念、方針、目標、発達過程などを踏まえ職員の共通理解のもと、教育・保育課程を再考し、年齢に応じたカリキュラムを見直し教育保育内容の充実、また すべての職員が職責に応じた必要な資質向上の為の研修を受講し、質の向上を図る。</p> <p>◆取組み、成果について</p> <p>今年度は、職員研修の充実を図るとともに、法人内の職員に向けて、公開保育を友渕が担当し、3歳児～5歳児の「音楽の取り組み」を行った。</p> <p>公開保育の発表により自分たちの教育指導の見直しが出来たこと、一層勉強になったこと、良い機会を与えて頂いたと思う。</p> <p>また、毎年小学校の教職員の職場実習を受け入れることで、小学校就学に向けて、学校教育を意識し、職員、子どもたちとの関わりが持てた。</p> <p>◆今後の課題として</p> <p>来年度、キャリアパス研修を充実させるとともに、リーダー的職員は各自の職責を理解し、保育の質の向上に努める。</p>
<p>成育児童センター</p>	<p>29年度の事業計画として、質の高い教育・保育の提供、アンケート結果からの園運営の改善、地域の子育て支援の充実、働きやすい職場の体制作りなどを掲げた。</p> <p>○取組、成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会で園の教育について発表することをきっかけに、非認知力について職員それぞれが考えて自分の教育・保育を見直すこととなった。野菜の栽培やセミ捕りなどを様々な活動に繋げて子どもたちの興味を広げることはこれまでも行っていたが、その活動や友達との関わりの中で、自尊心や共感性、自制心など非認知力が育っていることを改めて見直し、活動の意味を考えながら実践して、それが日常の保育にも繋がった。 ・園運営の改善については、実行しているのに保護者に伝わっていないことが多いことがわかったため、当たり前になっている仕事について改めて意味を考えたり、伝えたりして職員の意識の改善を図り、保護者に丁寧に伝える努力をするなどの改善を図った。 ・地域の子育て支援については、つどいの広場フレンドリーせいの利用者はどんどん増えて順調に運営しているが、その反面、園の園庭開放の利用が減っており、広報の方法などの改善を図りたい。 ・働きやすい職場作りが一番の課題であったが、年度途中の退職が3名あったため、計画していた職員の体制が崩れてしまい課題の解決が難しくなった。非正規職員の力を借りながら全職員が協力し合って1年を乗り切ったが、今後も全職員が協力して体制を作り、業務の改善を図りたい。 <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、改正の内容を知って理解を深め、自園の教育・保育について考える。 ・行事を見直して保護者の理解を得ながら減らしていき、計画的に仕事を進めて就業時間内の業務が終わるように努めて働きやすい環境をつくるとともに、有給休暇取得率を上げて職員の定着を図る。

コメント(保育所1)

<p>都島乳児保育センター</p>	<p>29年度の事業計画として、『安全で衛生的な環境の中で子どもたちが安心して過ごせる保育内容』『乳児マニュアルの法人内研修の実施』『保護者への行事の周知と年間行事の見直し』『コスト削減努力』を掲げた。</p> <p>○取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内外の清掃はもとより、遊具や器具についても丁寧な消毒や日光消毒など行ったが、時期や体調の変動により、感染症(嘔吐や下痢を伴うもの)が年間で2,3回流行してしまった。保護者からの指摘や重症化する園児はなかったが、症状が出始めた段階で早急な対応(保育室の合流を避ける、職員の手洗い・消毒・感染対策の徹底、保護者への周知と家庭での注意等)の徹底が必要。 ・「乳児マニュアル」を教本として法人の担当主任(岩本・西田・千代)が内容ごとに研修を設定し、実践重視で進めた。参加職員は主に1～3年目の職員及び勤務時間の長い非常勤職員もいたが、意見交換や質問など積極的に取り組んでいた。 ・ただ参加職員が自園で「研修報告」「実践の紹介」をすることはやや難しい状況であった。今年度は法人内での分野別研修が年間計画として実践され、通常業務に加えての報告会よりも、職員個々のスキルアップが実践に繋がっているよう、援助した。 ・学年ごとの懇談では、保護者同士の交流や子育ての意見交換など、園側ばかりが設定するのではなく、「今、必要な内容提供」を心がけた。また「感染症への対策」「危機管理への取組」「保育士育成の重要性」などを話すことで、より園生活に寄り添ってもらえた。 <p>○課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の保育施設数の増加に伴い、保護者のニーズに応えられる対応や施設のアピール項目を強調し、入所につなげていく。 ・職員の連絡不足や確認ミスで、保護者にご迷惑をかけたり、施設管理に不備が生じることが数点あったので、再度確認をする。 ・職員の有給休暇取得については、できるだけ全員が平等に取れるよう、リーダーが把握し声を掛けあうことができた。 ・施設整備については数年後の建替えを視野に入れながら、「急を要する要件」・「代用などで賄える要件」の選別をおこなっていく。
<p>都島第二乳児保育センター</p>	<p>平成29年度の事業目標として「保育理念・保育目標をもとに、家庭との連携を密にし子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう安全な環境のもと、子ども一人ひとりが安心して過ごせるような保育に努める」を掲げた。</p> <p>○取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児、2歳児の生活面(食事、排せつ、着脱)についての関わりについて見直しをおこないその時点での、子どもの発達や育ちに沿った関わりになるようすすめた。 ・子どもの発達における興味について、音楽やリズムあそび、体育あそびを普段から取り入れ運動会や発表会につなげていった。 ・屋上の菜園で、さやえんどう、夏野菜、さつまいもを苗植えから行い、実りを迎える日まで子どもたちと植物の成長を楽しむことが出来た。また収穫したものもクラスでクッキングを行うことでより食に関しての興味を持つことができた。 ・避難訓練も、見直しをおこない地震や火災の際の伝達や役割についてリスク委員会を中心に再確認を行った。 ・子どもや保護者のことについての情報共有を目的とし、保育士一人ひとりが普段から意識をし職員同士の報・連・相の強化を行った。 <p>○今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人職員のキャリアアップ制度に向けた研修センターでの研修会に年間で参加した。それぞれのキャリアに合わせた研修内容であったため、内容も充実していた。研修報告、実践報告の記録もあるのでどのような形が良いのか今後の検討課題となる。 ・職員の生活歴も様々になってきているため、物事の進め方や物品の取り扱いについても共有が困難になってきている。伝えること自体についても口頭だけでなく視覚からもわかるような伝達も必要になってきている。
<p>都島東保育園</p>	<p>○取り組みと成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に0歳児の認可定員数を12名から15名に変更。受け入れ人数を増やしたい。 ・当園の名物『壁のぼり』は昨年同様、職員がより一層共通理解を持ち子どもたちに指導することが出来た。 ・今年度は『それいゆ』より重度障がい児が1名入園。健常児と過ごすことにより多くの成長を見ることが出来た。隣接する『それいゆ』職員に相談することもでき、良い結果で卒園させることが出来た。 ・『文化の集い』に年長児の舞台出演依頼を受け参加。地域に貢献と当園を知っていただく良い機会となった。 ・インフルエンザにかかった子どもが全体の21名のみ。職員の日頃の換気、湿度の調整の成果と思われる。今後も習慣づける。 ・職員採用では実習生から採用に繋がり現在4年連続で採用。平成30年度も2名法人で採用。実習生指導の職員が貢献。 ・午睡ベットを桜宮保育園と購入。大量購入し業者と低価格で交渉できた。今後も機会が合えば法人で連携し購入したい。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップとしては幼稚園免許取得(1名)、幼稚園免許更新(1名)を目標とし園全体でバックアップする。 ・昨年に引き続き、地域との関わりを意識的に進める。(地域のイベント参加、ひがみや祭り、地域掃除)・3施設の交流。 ・7月に給食室から小火が出た。早くに気が付いたので大事に至らなかったが、危機管理に努める。 ・『それいゆ』との繋がりを大切に当園の気になる子どもの相談援助を受けたり、入園に繋げるよう努力する。 ・保育所保育指針、幼保認定こども園教育保育要領の改定により保育教育の見直しを行う。 ・今年度も実習生を採用試験受験者に繋げる(目標2名)。副主任、リーダー職員(3名)の育成強化。職員の資質向上。 ・園舎の建て替えに向け諸整備を止める。今後、保護者や地域の方々へのご理解と協力を願う。

コメント(保育所2)

<p>都島桜宮保育園</p>	<p>平成29年度の事業目標として、安全な環境づくり、地域との関係構築、教育・保育の向上、職員育成及びサービスの質の維持等を掲げた。</p> <p>○取組・成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園の増改築工事にあたり、仮園舎の建設工事、7月末に2～5歳児は仮園舎へ引っ越しをし8ヶ月間生活。0歳児については分園に引っ越しをし生活をした。子どもたちにとって、環境も変わり園庭も十分でない中、安全に過ごせる環境づくりをと、危機管理について職員で確認し話し合い情報共有をすることで事故なく過ごすことが出来た。戸外遊びも近隣の公園へ、また法人施設の協力で園庭遊びやプール遊び、体育活動・音楽活動などの場所を借りることもでき、法人の良さを感じた。 ・地域との関係においては、新しく関係を築くということで、仮園舎が建つことを歓迎してもらえていることに感謝しながら、送迎時のマナーや保育中の声、音など気かけ、挨拶は欠かさず、散歩時や行事などで商店街の方々とコミュニケーションを図るなどして親交を深めることが出来た。2～3年続く仮園舎、職員も今後うまくつながるようにと努力してくれた。 ・教育、保育においては、仮園舎だからできないではなく、この環境だからできることを工夫し、日々の保育、行事などを行うことが出来た。仮園舎の造りがコの字平屋建てで、それぞれを見渡せる部屋の配置となっていたため、様子もわかり行き来しやすく、今まで以上に自然な異年齢交流が図れていた。 ・保護者においては、子どもの過ごす環境が変わるという事で、いろいろな思いをもたれたと思うが非常に協力的であった。また、仮園舎でも本園にいた時と変わらない行事含め保育内容であったことを認めて下さる言葉も聞かれ感謝の一言に尽きる。 ・職員育成においては、職員の年数等に応じた法人内のキャリアアップ研修にできる限り参加し、一人ひとりの資質の向上が図れた。また、若年層が多い為、また非常勤職員とも共通理解・協働性を深める為の「保育や教育の内容、対応の仕方」についてリーダー職員が中心となり園内研修の時間も設け資質、サービスの質の向上に努めた。 ・幼稚園教諭免許については正規職員1名が更新を行った ・実習生1名が採用につながった。 <p>○課題・反省・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度内に2度の引っ越し、そして工事の関係で日々のことをおさえるだけで精いっぱい1年であった。30年度より施行される保育所保育指針の改定にあたっての勉強会が十分にできなかったことが反省。指針の読み合わせをし現状との検証を行い保育の質を高めるよう努める。また、31年度、認定こども園への移行を目標に、幼保連携型認定こども園の勉強会も行っていく。 ・リーダー職員の職務内容を明確にし、キャリアアップ研修で専門性を高めるとともに、本人の自覚を高め組織の中で活躍できるようにする。 ・幼稚園教諭免許の更新、幼稚園教諭免許をもたない職員の資格取得を、30年・31年度中に計画的に進める。 ・認定こども園移行に向け職員の増員も必要となるため、実習生が採用につながるよう努める。 ・職員の就業時間内での業務の終了を目指して見直し改善を図る。ノー残業デーの徹底、有給休暇取得率アップなど働きやすい職場づくりに努める。
<p>都島友洲乳児保育センター</p>	<p>○取組成果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災などの危機意識を育て、実際の災害に備えるため、保護者参加型の防災の取組みイベントを企画した。実際に非常食を食べ、避難用3人抱きキャリアを保護者に体験してもらい、防災クイズ等職員からの提案で訓練的な思考だけでなく現実的な対応をする訓練となった。 ・職員の職責に合わせた研修体系に基づき、資質や専門性の向上を図るため、研修受講を充実させた。 ・園の中の危険な場所、リスクが潜んでいるのか点検した結果、固定できる物には固定及び転倒防止のリングで留めたりとリスク回避を行った。 ・ホームページの動画は保護者から非常に好評で、反応もよい。実際「楽しみに待っている」と声も聞かれるため、継続してアップしていきたい。 ・地域福祉への貢献としては、室内開放や地域防災行事への参加など、今年も多彩に実施できた。 ・友洲児童センターとの交流も、職員研修や保護者行事などは勿論、園児の交流にいたるまで、幅広く交流を広げることができた。 ・病後児保育の利用実績は128人。11月まで利用率が上がらず、周辺他法人保育園に周知活動を行う。周知活動後から近隣小規模保育園の利用者や新規の利用者も徐々に増え、効果が表れた。 ・保育施設に勤務している看護師たちの結束にて年度内に保健マニュアル『子どもの成長発達と健康管理』を作成することができた。 また、法人職員に向けて保健衛生・健康管理について研修講義を行った。 ・子育て支援の一環として保育職員も地域に出向き、在宅家庭の母親に対して『室内あそび』であったり、『ほめ方叱り方』など研修講義を行った。 <p>○反省改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新保育指針に基づき乳児保育について職員間の専門性を高め、保育の機能及び質の向上を目指す。 ・キャリアパスを明確にして、職務内容に沿った研修を受講する。 ・リーダーには自身の職責を再度見直してもらい、後輩指導の在り方、立場を再認識してもらう。 ・平成30年度法人としての取り組みとして、処遇改善向上のため、処遇改善費支給額アップ・有資格者の時給アップ等見直しを行った。 ・平成30年度看護師連絡会では、「保育施設における看護師の役割」をまとめ『日本保育協会保育所保育研究』に論文を応募することとなる。平成29年度まとめた保健マニュアルや職員・保護者への助言、園児の健康管理など9月までにまとめていく予定。

コメント(沖縄)

渡 保 育 園	<p>平成29年度の事業目標として地域や保護者との連携をめざす中、保護者支援や食育等の継続を図ることを目標とし取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣のお年寄りを招き、園児と楽しくの触れ合う時間を作った。 ・子育て支援及び地域との連携のため、園庭開放をおこなった。 ・各職員が自己評価を行い、次年度にスキルアップを図るよう話し合いをもった。 ・新保育指針への研修を十分に行えなかったため次年度では内外の研修を積極的に参加したい。 ・安全で安心の保育を心がけながら成長を図るための保育を行った。 ・法人内研修として初任保育士、中堅保育士以上の研修、法人の歴史を知る研修、創設者の思いを知る研修、虐待、守秘義務、個人情報についての研修をおこなった。 <p>○今後の課題 保育士確保のため、ネットや職安、元職員の声をかけて必死に全員で努力する環境作りが必要と考える。よりよい人間関係や働きやすい環境作りを皆で考える。</p>
松 島 保 育 園	<p>平成29年度の事業目標として保護者との連携をめざす中、保護者支援や食育等の継続を図ることを目標とし取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心の保育を心がけながら成長を図るための保育を行った。 ・各職員が自己評価を行い、次年度にスキルアップを図るよう話し合いをもった。 ・新保育指針への研修を十分に行えなかったため次年度では内外の研修を積極的に参加したい。 ・法人内研修として初任保育士、中堅保育士以上の研修、法人の歴史を知る研修、創設者の思いを知る研修、虐待、守秘義務、個人情報についての研修をおこなった。 ・食育に力を入れた。ゴーヤーを育て、ゴーヤージュース等で収穫の喜びを味わった。 <p>○今後の課題 保育士確保のため、ネットや職安、元職員の声をかけて必死に全員で努力する環境作りが必要と考える。よりよい人間関係や働きやすい環境作りを皆で考える。</p>

(3) 児童厚生施設・子育て支援事業

児童厚生施設-教育クラブ(都島児童センター)

クラブ名	講師	レッスン	時間	対象児童	年間延利用数
英語	3	月・水曜日	13～18時	幼児～小学生	1,427
絵画	1	火・金曜日	13～18時	幼児～小学生	1,569
バレエ	1	水曜日	13～18時	幼児～中学生	1,920
書道	1	木・金曜日	14～18時	幼児～中学生	5,920
ピアノ	1	火～金曜日	15～18時半	幼児～小学生	1,440

子育て支援事業の実施状況

	①一時保育事業 (一時預かり)	②地域子育て支援 拠点事業	③病後児保育事業
友渕児童センター		大阪市委託:ひろば型	
成育児童センター		大阪市委託:ひろば型	
都島第二乳児保育センター	大阪市委託	大阪市委託:センター型	
都島友渕乳児保育センター			大阪市委託
渡保育園	法人独自		
松島保育園	法人独自		

①一時保育事業

「すくすく」(大阪市委託事業)

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一時預かり事業	206	207	318	255	282	277	284	316	337	278	321	349	3,430

法人独自事業

延べ利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
渡保育園	1												1
松島保育園	1												1
計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

②地域子育て支援拠点事業

センター型-「地域子育て支援センターのびのび」(大阪市委託事業)

地域支援活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	18	19	20	240
延べ利用者数	大人	186	221	201	206	181	214	187	190	170	163	167	2,261
	子ども	198	227	210	230	219	235	203	211	184	177	190	2,460

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	250	92	65	11	108	74	600

ひろば型-「フレンドリーともぶち」(大阪市委託事業)

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	20	20	22	20	21	21	21	20	20	19	19	21	244
延べ利用者数	大人	220	228	278	273	265	314	260	284	195	202	214	2,946
	子ども	238	240	296	291	295	329	270	298	253	220	233	3,194

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	208	98	20	65	63	106	560

子育て支援講習等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	5	5	8	5	7	5	7	5	6	5	7	5	70
延べ利用者数	大人	37	36	56	41	58	54	55	43	50	39	64	576
	子ども	39	37	59	40	59	53	55	45	23	39	68	562

ひろば型-「フレンドリーせいいく」(大阪市委託事業)

子育て親子交流促進	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	18	20	21	244
延べ利用者数	大人	271	305	342	333	337	363	397	396	363	312	394	4,225
	子ども	275	315	357	342	340	372	401	401	368	317	399	4,313

相談・援助活動	基本的な生活	発育・発達	医学的問題	生活環境	育児方法	その他	計
件数	64	12	9	4	10	3	102

子育て支援講習等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	6	7	6	7	8	7	6	8	6	7	7	6	81
延べ利用者数	大人	54	65	59	69	73	86	67	117	80	82	103	932
	子ども	54	65	61	71	72	90	68	118	83	82	106	951

③病後児保育事業

病後児ルーム「ひまわり」(大阪市委託事業)

定員4名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用者数	10	6	8	4	10	15	10	6	25	14	15	5	128

コメント(児童厚生施設・子育て支援事業)

<p>教育クラブ</p>	<p>・昨年に引き続き、教育クラブへの入会が増加。教育への意識・関心が高まるが、入会クラブに偏りがでてきている。 ・保護者への連絡方法、持ち物について等、講師と連携を密にとりながら対応することを心がけた。 ○課題 ・小学生の入会・退会(特に外部)の把握ができておらず、月謝の未納が何名があった。後日対応する形になったので、しっかり把握できるような体制を整える。 ・利用人数が増えたことで保護者に対応することが増え、職員や事務所の業務量が増加。 ・クラブで使用する机や備品が古くなってきているので、新しく購入することが必要。(座卓等 *軽量の座卓が必須)</p>
<p>一時預かり事業</p>	<p>利用者数が昨年度に比べ630人減少、原因としては小規模保育園に途中入所となるケースもあり、新設園の影響と思われる。 昨年同様、育児困難で利用するケースも多く区役所の子育て支援室より紹介を受けてこられることが数件あった。 ○次年度に向けて 支援者が一人ひとりの課題を見極め、安心して育児に向かうようにサポートすることで、心に余裕ができたお母さんは周りに目を向けられるようになる。そういった中で利用者同士で育児相談をしたり、子育て情報を得るなどの姿もある。これからは親子のペースに合わせながら継続して利用者同士がつながりを深めていけるような支援をすすめていきたい。 一時預かりでは、保育室の使用の仕方も工夫し職員全体が、在宅チームと連携が取れるよう体制を整えていきたい。 一時預かりの利用者が急に減り始めた原因が、小規模保育園入所という点が明らかのため、その点をしっかり理解し、HPなども含め、利用者のニーズにあった内容を考え職員が一体となり、より充実した一時預かり事業を目指したい。</p>
<p>地域子育てセンター支援拠点</p>	<p>29年度、地域子育て支援センターの利用者は減少傾向だが、相談件数は年々増加傾向にある。子育てに関する相談は600件だった。 「子どもってどうしてこんなことするの?」と子育て中のお母さんにとって心配なこと、わからないことが多くある様子。一人ひとりの悩みをじっくり聴き理解して共に考えるなど個別対応が必要なケースが多くなってきている。 話を聴き、気持ちに寄り添うことでお母さん自身が考えを整理し答えを見つけていくことができているように感じる。</p>
<p>地域子育て支援拠点事業ひろば型</p>	<p>(フレンドリーともぶち) つどいの広場の目的として気軽に親子が集える広場として、充実した一年であった。 離乳職説明会、看護師による講座、ベビーサインなど保護者からの要望も多く、参加者も多かった。 今後も専門分野の講師を依頼し、講座を取り入れながら、友渕児童センターと連携し、子育て支援の充実を図っていく。</p> <p>(フレンドリーせいいく) フレンドリーせいいくの存在を広く周知されるようになり、利用者は、昨年度の半年間の総数の3倍増となり、講習会は利用者のニーズと関係機関からの依頼等に応え、回数が増えて内容も充実し、参加者は前年度半年間総数の7倍以上となって多くの利用者に喜ばれた。さらに今年度から始まったブックスタートもすぐに予約が満員になっており、大半の方がそれをきっかけに登録してその後の利用に繋がっている。 また、区内の子育て支援施設の定期的な集まりにスタッフが出席するようになって他施設との連携がとれ、お互いの情報を配架し合って情報の共有と発信が図れるようになった。 ○今後の課題 一部屋に常時多くの利用者があり、個別の相談をしにくいという実態があるため、成育児童センターの別室で個別の相談をいつでも受けられることを周知し、相談・援助を受けていきたい。</p>
<p>病後児保育</p>	<p>都島友渕乳児保育センターのコメント欄に記載</p>

(4)子ども発達サポートステーション それいゆ

月別利用延べ園児数(通所支援事業) 就園児療育の状況含む

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
602	640	703	598	602	637	598	605	601	522	563	608	7,279

区別契約児童数(計42名)

都島	城東	鶴見	北	その他
15	4	5	8	10

職員数(保育所訪問支援・障害児相談支援事業含む)

正規職員						非常勤職員					合計
施設長	主任 保育士 兼 児童発達 支援管理 責任者	副主任 保育士 兼 相談専門員 兼 訪問専門員	保育士 ・ 社会 福祉士	保育士	計	心理士 兼 相談専門員 兼 訪問専門員	短時間	作業 療法士	言語 聴覚士	計	
1	1	1	1	4	8	1	5	1	1	8	16

平成30年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘 要	金 額
テント工事	380,700
通園車購入	2,236,320
通園バス購入	6,389,938
電気温水器	111,888
看板設置工事	228,960
5 件	9,347,806

主たる修繕

建具転倒落下防止工事
送迎バス修理
排水管洗浄
サムターン鍵取付

保育所訪問支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	11	4	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	21

障害児相談支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用計画書作成・モニタリング件数	17	16	21	19	18	19	6	12	8	19	16	40	211

大阪市障がい児療育等支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス利用者数	0	0	5	6	7	4	5	3	5	0	0	0	35

コメント(こども発達サポートステーションそれいゆ)

こども発達サポートステーションそれいゆ

○取組・成果について

・今年度は契約児34名からスタートし、うち週2日通園児2名の療育に取組み、また5月より就園児療育として9名の年長児のグループ療育を月2日行うことができた。

新人、2年目の職員が多いなか、事故やけがが起きないように定期的にヒヤリハットの取組み、評価を行い、マニュアルの見直しを月1回のペースで職員全員で行った。その結果、大きなけがや嘔みつき、他害、問題行動を防ぐことができた。

○課題

・今年度3事業所が新たに開設するにあたり、年度当初から職員を多く雇用したが、病休、退職者や産休などが年度途中に発生したため職員不足になってしまった。またベテラン職員が、デイサービスへ児童発達支援管理責任者として異動になり、それいゆは若手職員で事業を行うことになってしまい、支援としては以前の内容での提供は難しくなっている。障がい児支援員として、専門知識や技能を身に付けるよう園内研修の実施を深める必要がある。

障がい児相談支援事業

前年度同様に2人体制で取組んでいるが、都島区内の利用希望者が多く待機の状態である。今年度から少しずつ、それいゆを卒転園された保護者で他区の方には地元の相談支援事業所へ移っていただくお願いをしている状況である。

○課題

都島区内の待機を解消するため引き続き、相談支援員の増員に努めたい。

保育所等訪問支援事業

卒転園児の引き継ぎに続き、支援の継続を希望する保護者の数名の支援を行った。年度途中で作業療法士が体調を崩し退職となったため、肢体不自由児の訪問支援が後半できなかった。

○課題

今後、職員全員が療育支援のスキルアップを図り、各保育所等の訪問先の職員に対し、支援方法や特性理解の指導が出来るよう研修の充実に努める。

大阪市障がい児療育等支援事業

前年度から法人内保育園のしおりで事業の案内を載せていたことから、数名の保護者からの依頼があった。各保育園から、気になる園児の観察依頼が昨年に比べ多かったので、日程調整を行って順に訪問し職員と対応を検討するなど、昨年に比べ倍の人数になった。

(5)児童発達支援・放課後等デイサービス

〈都島児童デイサービスあつぷる〉

月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
47	41	45	50	46	46	34	33	56	55	70	75	598

月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
39	38	48	33	21	35	25	26	30	21	42	36	394

区別契約児童数計(10名)

都島	城東	鶴見	北	その他
4	1		2	3

職員数

正規職員				非常勤職員			合計
児童発達支援 管理責任者	保育士	その他	計	常勤並	短時間	計	
	1	1	2	1		1	3

平成30年3月31日現在

〈都島児童デイサービスれいんぼー〉

月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	0	7	25	50	43	38	40	44	40	43	39	372

月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
70	135	163	67	142	161	162	164	152	120	155	146	1,637

区別契約児童数計(32名)

都島	城東	鶴見	北	その他
25	3		1	3

職員数

正規職員				非常勤職員			合計
児童発達支援 管理責任者	指導員	その他	計	常勤並	短時間	計	
	1	1	2	2		2	4

平成30年3月31日現在

〈児童デイサービスせいいく〉

月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
12	27	18	25	29	32	51	31	36	29	36	59	385

月別利用延べ園児数(放課後等デイサービス)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
44	67	81	67	91	76	68	69	60	65	130	72	890

区別契約児童数計(24名)

都島	城東	鶴見	北	その他
2	12	1	2	7

職員数

正規職員				非常勤職員			合計
児童発達支援 管理責任者	保育士	その他	計	常勤並	短時間	計	
	1	1	2			0	2

平成30年3月31日現在

〈こども発達サポートせいいく〉

月別利用延べ園児数(児童発達支援)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
							115	133	135	137	142	662

区別契約児童数計(名)

都島	城東	鶴見	北	その他
2	4		2	

職員数

正規職員				非常勤職員			合計
児童発達支援 管理責任者		その他	計	常勤並	短時間	計	
	1		1		2	2	3

平成30年3月31日現在

主たる修繕・整備等

各所修繕

サムターン取付

コメント（児童発達支援・放課後等デイサービス）

今年度4月から事業所3カ所でスタートし、11月から新たに1事業者が加わり児童発達支援、放課後等デイサービスの支援に取り組んだ。

都島デイサービスの利用児童が増加に伴い4月より2事業所でスタートしたが、年度当初は新規利用児の獲得が困難であった。

児童デイサービスせいいくも年度当初の新規利用児の獲得が困難で実績が伸びなかった。

後半からは利用延べ人数も徐々に増加した。

今後の課題は、各事業で異なる支援方法で子どもに合ったサービスの提供が出来るよう努める。

2. 第二種社会福祉事業(高齢者)

(6) 友渕地域在宅サービスステーション ひまわり

職員数(パート含)

施設長	副施設長	生活相談員	看護職員	介護職員	介護支援専門員	プランチ担当者	その他	計
1	1	1	2	10	3	1	4	23

平成30年3月31日現在

◆デイサービス事業

(延件数)

事業内容	26年度	27年度	28年度	29年度
定員(人/日)	35	35	35	35
通所介護延べ利用者数	7,824	7,239	7,090	7,562
通所介護加算内容	入浴加算	6,308	5,588	5,379
	中重度者ケア体制加算	7,824	7,239	7,090
	サービス提供加算	7,824	7,239	7,090
介護予防通所介護延べ利用者数	801	478	540	390
介護予防加算内容	運動機能向上加算	785	470	485
	サービス提供加算	801	478	540

◆総合相談窓口業務(在宅介護支援サービス業務)

	26年度	27年度	28年度	29年度
相談実績	1,306	1,419	1,589	1,295
内訳	来所	126	73	97
	電話	625	589	626
	訪問	555	621	784
	その他	0	136	82

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
洗濯機	116,436
デスクトップパソコン	159,840
介護ソフト 法改正対応バージョンアップ	432,000
3件	708,276

主たる修繕

リフト車輛修理
ドアクローザー修理他
雑排水管清掃他

コメント(デイサービス・総合相談窓口)

○3年ごとに実施される「介護保険制度の改定」と「介護報酬の見直し」がなされたが、3年目の平成29年度においても依然と大きく厳しい状況であることは、かわりなかった。

○そんな中であって、「心やすまる施設」「また行きたいと思える施設」「誰からも喜ばれる施設」利用者への「心温まるおもてなし」を目指し、職員の「接客研修」や「介護技術研修」等積極的に外部研修に参加し、その蓄積したノウハウを、職員会議の中で発表する要点、概要を吸引し、理解を深め、職員間での共通認識のもと、介護予防のために、昼夜を分かたず、業務の遂行に取り組んできた。

消防署の協力のもと、職員全員が受講した「普通救命講習」を開催し、「救命技能有資格者」となったことは大きい成果であった。

○祝日、休日については、従来からゴールデンウィークに1日、敬老の日に1日と2日間のみ開設していたが、29年9月からは、ご家族の要望と利用者本位の考えから、すべての祝日、休日について開設することとし、年間利用者数の大いなる増加をはかることとなった。

○一方、四季折々の季節感と古来からの伝統行事についても、積極的に実施した。給食委託業者の協力を得て、食事面においても、それぞれの行事に合わせて「行事食」として、「ひなまつり」「端午の節句」「夏の盆踊り」「秋の運動会」「クリスマス会」「春・秋の七草がゆ」等特別な献立で提供した。また、旬の献立でやフルーツ等の彩りに加え、寿司パーティ・冬の鍋を囲む食事等利用者に喜んでいただける多種多様な食事メニューの提供を行った。

○同時に外の世界の季節感を味わう機会、たとえば桜鑑賞ドライブ、遠足などの実施、館内での夏祭り・運動会・敬老会・クリスマス会等の実施とともに、多彩な生活感を味わっていただき、ボランティアの方々によるフルート、クラリネット、二胡、ハーモニカ等多種再々の演奏に聞き入る午後のひとときは、家庭で味わうことができないひとときを過ごしていただけるよう、創意と工夫で楽しいデイの毎日を演出した。

○書道、俳画教室、ヨガ、詩吟、カラオケ、都都逸、カレンダー製作、機能回復訓練、頭の体操のためのトンチ教室やクイズ・脳活性トレーニング・映像による「懐古」のための映画会の開催等、介護予防のための各種学習活動や趣味の手芸等に励み、大いに進展と効果をみたところである。

○巷間では介護職場の処遇は一般サラリーマンに比べ、低いとされてきた中で、職員にとっても安心して働ける職場、長く続けられる仕事、安定した職場を目指し、介護職員の処遇改善とキャリアアップ制度化を図ってきた。

○総合相談窓口業務は、総合相談の年間延べ件数において、大阪市の評価基準の600件以上を超え、平成29年度の訪問件数は総延べ件数の約半数であり、より地域に密着した活動を行うことができた。

○友渕地域老人会や「友渕ふれあいの集い(食事サービス)」に参加し、認知症や介護予防の啓発、周知活動など情報提供を行い、顔の見える関係づくりを推し進めることができています。

○月1回開催の「友渕ゆめさろん」は定期的に講演会を計画し、地域とともに開催、継続している。

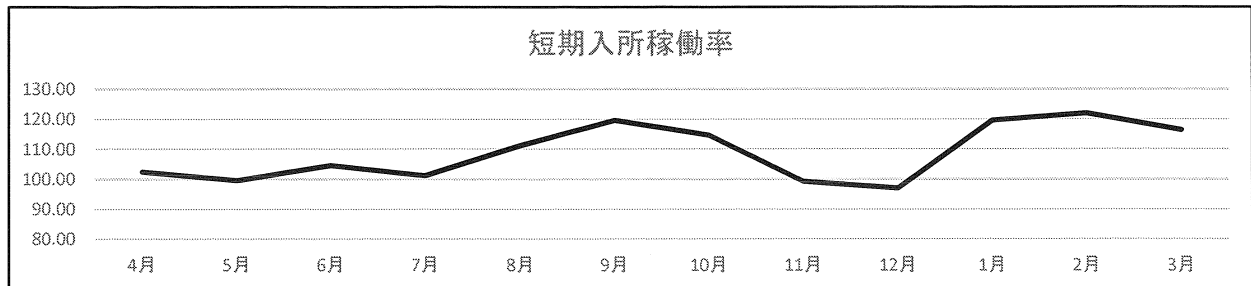
○友渕小地域ケア会議を友渕地域連合振興町会、区および各関係機関、北部包括支援センターと連携し開催、友渕地域で高齢者の介護予防・集える場として地域主体の「いきいき百歳体操」の開設に至った。

○高齢者虐待相談ケースでは都島区保健福祉センター及び北部地域包括支援センターとともにサービス利用調整会議に参加、他問題・支援困難ケースにおいては地域ケア会議を開催しランチの役割をになってきたところである。

(7) 特別養護老人ホーム ひまわりの郷

○短期入所生活介護事業（年間延利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	318	309	314	314	345	359	356	298	301	371	342	361	3,988
稼働率(%)	102.60	99.70	104.70	101.30	111.30	119.70	114.80	99.30	97.10	119.70	122.10	116.50	109.3%



○社会貢献事業

開始時期	対象者	年齢	支援	支払購入品	内容
4月7日	男性	54	60,703	電気・水道滞納分	昨年末まで警備員として勤めが、不整脈から失業。生活困窮となる。
8月7日	男性	67	4,337	生活費	年金暮らしだが、親戚の祝儀が続き、生活困窮。
9月8日	男性	33	90,481	家賃、光熱水費	記者だが離婚後、別れた家族への支援金のため、生活が立ちいかなくなった
12月8日	男性	29	93,714	家賃、光熱水費	うつで就業できず引きこもりも、派遣会社で採用されたので、つなぎ資金
1月16日	男性	63	89,876	生活費	タクシー運転手を以前していたが、事故で職場復帰ができなくなった。
	合計		249,235		

コメント（社会貢献事業）

昨今の社会経済情勢の変化などにより、厳しい生活課題、福祉課題が広がっています。こうした課題に対して、既存の制度では対応できない「制度のはざま」の生活困窮も生じています。

社会貢献事業は、こうした生活課題を抱え、制度の狭間におられる要援護者に対して、相談活動をおこない必要に応じて経済援助を行うことで、自立生活を支援するものです。財源は、府下の特養から集められたで拠出金をもとに、給付を行っています。関係施設との連携により、要援護者の連絡(情報)が提供されます。主なところでは、「府社協社会貢献支援員」からの申し出が多く、施設の担当者であるCSWと協働して、地域課題に向き合っています。

3. 公益事業

(1) 居宅介護支援事業

職員数(パート含む)

施設長	管理者	介護支援 専門員	計
1	1	2	4

平成30年3月31日現在

介護予防サービス計画(ケアプラン) 対応延べ件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
介護予防支援プラン	237	293	371	303
初回加算	13	15	14	6

介護サービス計画(ケアプラン) 対応延べ件数

介護度	26年度	27年度	28年度	29年度
要介護1・2	609	682	622	624
要介護3・4・5	337	250	237	269
合計	946	932	859	893
初回加算	30	23	27	23
特定事業所加算	946	932	859	893
退院退所加算	1	1	4	7
認知症加算	176	0	—	—
独居高齢者加算	185	0	—	—
入院時情報連携加算	185	0	1	24
小規模多機能連携加算	185	0	1	0

コメント(居宅介護支援事業)

平成29年度は地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域で信頼されるケアマネージャーを目指し、引き続きランチ及び北部包括支援センターとも連携を密に行いました。後進の育成にも力を入れ、介護支援専門員の研修実習の受入れ3名、介護職員初任者研修の講師としての参画を行いました。医療連携にも力を入れ入院時からの情報提供に努め、積極的に退院時カンファレンス開催を働きかけ参加するなど医療機関と連携をとり退院支援を行っています。また予防の方を中心に包括ランチからの相談ケースも支援しています。

(2)ひまわりⅡ

介護予防サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

介護度	27年度	28年度	29年度
介護予防支援プラン	47	38	53
初回加算	5	1	8

介護サービス計画（ケアプラン）対応延べ件数

介護度	27年度	28年度	29年度
要介護1・2	151	167	174
要介護3・4・5	234	238	178
合計	385	405	352
初回加算	7	11	5
特定事業所加算	0	0	0
退院退所加算	0	0	6
認知症加算	0	0	0
独居高齢者加算	0	0	0

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
なし	
0件	0

コメント（ひまわりⅡ）

平成29年度も包括的高齢者介護事業としての役割を担い、介護支援専門員の力量を高め、公平中立・利用者本位の理念に基づき、より良いケアプラン作成し信頼される事業所として、法人全体で目指す地域福祉充実に貢献するを目指しました。

◎平成23年11月に福祉ビルにケアプランセンターを開設し、6年が経過しました。指定事業所の有効期間も平成29年10月31日で満了となり、新たに指定更新(平成29年11月1日～平成35年10月31日)を受けました。

また、平成29年10月16日には事業所初めての「介護保険事業者調査の実施」を受け解釈間違い等で▲¥69,031を返金となり改めて、日々の様々な書類整備や多職種連携等の必要性の指摘となり介護支援専門員の業務の厳しさを痛感しました。

◎平成29年度介護報酬は、前年比▲¥798,791と大幅な減収となった。要因としては認定結果の厳しさや様々な理由で在宅介護継続困難や中止となる事例が多かった事が考えられます。また、年間ケアプラン件数については▲53件、予防ケアプラン件数は15件増となり、独居利用者状況増大の変化が反映されていると考えます。

◎資質向上を図るため、外部研修参加及び研修講師
・平成30年度介護保険制度改正の解釈研修会

(3)比嘉正子地域貢献事業研修センター

職員数

正規職員(嘱託含む)	非常勤職員
相談員	
3	0

子育て・障がい・介護なんでも相談室「ひまわりネット」

相談受付	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	電話	1	3	4	3	1	1		3	2	1		19	
	来所	10	8	9	5	5	4	4	7	11	10	3	4	80
	家庭訪問				1					1	1		3	

研修・講座

在宅子育て支援関係	24
社会福祉関係	1
職員(保育)研修関係	48
防災関係	2

災害支援(11ね!物産展)

実施回数	1回
支援先	災害備蓄

福祉人材登録

登録者数	19
雇用者数	2

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
ゆんたく展示壁面	230,289
ゆんたく収納カウンター	191,908
研修室収納展示棚	409,403
ワイヤレスアンプ	158,000
4 件	989,600

主たる修繕

LAN工事
サイン工事

コメント(研修センター)

すべての人が健康で文化的かつ快適な生活が守られ、豊かな人間生活の実現を目的としている。目標としている「専門機関への橋渡し役となり、より敷居の低い地域の相談窓口として「心」の居場所」が地域に口コミで広まり、定着してきていることを実感。更に世代を超えた居場所を目指し、地域の開かれた社会的資源となれるよう取り組みたい。

取り組み

- ・人材育成として、大阪府民間社会福祉事業振興基金助成(アウトリーチ型研修助成事業)を受け、テーマ「職員の専門性の向上を図る」を51回実施。延べ1,547名受講。
- ・主な相談内容:心の病気・不登校・育児不安の相談が増加。
- ・関係機関との連携⇒都島区要保護児童個別ケース会議:複合的課題を抱える家族(世帯)への支援
生活支援課:生活保護申請の援助、都島区虐待担当・子ども相談センター:子どもの救済
都島区子育てネットワーク会議参加、都島区社会福祉協議会:社会貢献事業
- ・広報活動⇒ホームページ・facebook活用し、ひまわりネットの活動を発信。
- ・福祉人材養成介護職員養成講座「初任者研修」春コースを開催。5名が受講し、修了。ひまわりの郷:1名、デイサービスひまわり:1名パート採用
- ・在宅子育て家庭の育児支援講座等計24回開催。
- ・「いいね文庫」は、在宅子育て家庭の親子や地域の児童(小中学生)、その他口コミで増え、17時までは憩の場になり、登録者(本の貸し出し)も増加している。
- ・敷居の低い居場所づくりの一環として、安心安全な給食ランチを提供する『ひだまり食堂』を週2~4回行い、賑わっている。

成果

- ・精神疾患や生活困窮の相談も長期間に及ぶが、思いを聞いてもらえる場所として定着している。
- ・人材育成研修を分野別、職位別で受講することで保育士自身の資質向上につながったように思える。
- ・「ひだまり食堂」が地域で定着し、高齢者や子育て中の親子の語らいの場所、相談の場所になってきている。

課題

- ・「先が見えない」「終わりのない」相談、精神疾患や生活困窮の相談も増加している。相談者が抱える問題が一つではなく重なり絡み合っていることが多く、聞き取りと内容を整理し、相談者が自力で解決できるように援助していくことが望ましい。隙間を埋める人材の育成が急務である。

4. 収益事業

(1) 賃貸アパート(あやなす荘)

2～4階…賃貸住宅あやなす荘 (27室)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	参考(入退状況)
入居世帯	26	26	27	27	
空室	2	2	5	4	入居 1名 退去 2名

平成30年3月31日現在

特記事項

310号	平成29年4月	入居
310号	平成30年3月	退去
408号	平成30年3月	退去

(2) 賃貸ビル(福祉ビル)

1階…(賃貸) 遠藤クリニック、メディッシュフードサービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	参考(入退状況)
入居事業所	1	2	2	2	

平成30年3月31日現在

固定資産取得価格一覧

摘要	金額
あやなす荘407号室改装	1,395,856
あやなす荘207号室ガス風呂釜交換	145,000
あやなす荘防犯カメラ取付	180,360
5 件	1,721,216

主たる修繕

あやなす荘407号室ガス漏れ修繕
あやなす荘311号室便所修繕

コメント (収益事業)

あやなす荘においては、近年の建て替えを見据え、新規入居者は募集せず、希望があれば期限付きの職員寮として活用している。

福祉ビルにおいては、テナントとして活用し、引き続き、遠藤クリニック及びメディッシュフードサービスに賃貸している。

5. 研修報告

《人権研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児童	都島区社会福祉施設連絡会	6/14	自立生活センターの取り組みについて	20
		7/20	障がい者の意思決定支援と権利擁護	18
	大阪市企業人権推進協議会	10/18	部落差別解消推進法の意義と課題	1
		10/18	ネット社会と人権～ネット上における部落差別の現実と今後の課題～	1
高齢施設	大阪市老人福祉施設連盟	6/9	高齢者虐待と実態と防止策	1
	大阪市社会福祉施設人権活動推進連絡協議会	9/29	家族とは、親子とは、里親制度から考える子どもの権利	1
	人権同和問題企業啓発講座実行委員会	11/13	共に考えよう！日本社会の分断回避の道筋を！	1
	大阪府社会福祉協議会	11/24	メンタルヘルスに関する研修会	1
	福祉と人権の研修ネットワーク	11/29	個人情報保護法の正しい理解のために	1
法人内	毎月の施設長会議		法人及び各施設に関する人権について	12回
	毎月の職員会議		施設に関する人権について	12回
	役員会議開催毎		法人に関する人権について	12回

《役員研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
外部	大阪社会事業経営協会	4/26	春季研修会「激動する社会での社会福祉事業経営の方向を考える」	1
		7/24	夏季研修会 松寿 庶氏講演	1
	日本の福祉を考える会	6/5	設立10周年記念講演「暮れのトリプル改定に向け」 衛藤晟一氏	1
		11/9	勉強会「人生100年時代と全世代型社会保障」 大島一博氏	1
	大阪府社会福祉協議会	8/31	都道府県経営協セミナー(前期)	3
		12/11	障害者福祉部会フォーラム「知的障害者の高齢期の暮らしの支援を考える」	2
大阪ガス	2/19	時事セミナー 清宮克幸氏講演	3	

《外部研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児童	大阪教育大学付属特別支援学校	8/2	大阪教育大学付属特別支援学校公開研修会	1
	大阪市	7/3	災害研修	1
	大阪市危機管理室	6/15	自然災害への備えに関する要配慮者利用施設管理者向け説明会	1
	大阪市こども青少年局	10/30	「放課後児童クラブにおける育成支援の基本と放課後児童支援員の役割について考える」	4
	大阪市こども青少年局	1/15	「児童虐待防止への理解と対応」	4
	大阪市私立保育園連盟	12/8	救命の研修	5
	大阪市保育・幼児教育センター	1/12	「幸せづくりの処方箋」～風通しの良い職場づくりと教職員の関係づくり～	1
	大阪市立保育連盟研修部	6/1	子どもの健康で安全な生活を考える ～投薬について～	1
	大阪市立都島小学校	4/5	小学校給食試食会	2
	大阪青年経営会	12/19	日本の社会福祉のルーツを探る	2
	大阪知的障がい者福祉協会児童通園分科会	10/31	施設見学・講義(東大阪市立第一はばたき園の療育について)	2
		2/21	通園分科会	1
		5/15～10/5 (全10回)	スマイルサポーター養成研修一期	1
	大阪府社会福祉協議会	5/25	平成29年度大阪府社会福祉協議会 保育部会総会	1
	8/21	保育部会 大阪市ブロック園長研修会「処遇改善Ⅱについての中間報告」	2	
	12/11～2/19 (全5回)	スマイルサポーター養成研修二期	1	
施設	大阪府障がい者自立支援協議会	2/2	相談支援従事者専門コース別研修 権利擁護・意思決定支援	1
	大阪府保育所保健連絡協議会	7/31	『子どもの便秘と隠れた疾患』身近な小児外科疾患』	1
	応研(株)	11/15	福祉大臣年末調整セミナー	2
		3/2	福祉大臣決算セミナー	2
	学研研修会	6/10	運動会種目講習会	2
	クレオ大阪子育て館	2/7	大阪地域子育て支援拠点事業 第4回担当者研修会	1
		3/8	障がいをもつ子どもの親の理解と支援	1
	厚生労働省	10/26	保育所保育指針について他	1
	国際警備保障	2/16	AED講習	25
	社会福祉人材支援センター研究グループ	7/18	気になる子どもと親のSOS～専門職の支援から見たアプローチ	2
社福プロネットワーク	6/2	社福プロネットワーク研修会	1	
全音	6/11	幼児音楽教室 夏期講習～「楽しいね」をつなげるために！～	1	
	8/8	ゼンオン器楽合奏研修	1	
	8/19	和太鼓講習会	1	

《外部研修》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
児	全国社会福祉法人経営者協議会	7/5~6	平成29年度社会福祉法人 主任、係長講座	1
		7/13~14	全国社会福祉法人経営青年会 平成29年度研修企画事業 基礎講座	1
	全国社会福祉法人経営青年会	10/19~20	地域共生社会の進展と社会福祉法人の存在	5
	天満労働基準監督署	1/18	安全衛生・労務管理セミナー～腰痛やストレスに負けない介護と医療～	1
	西日本教育音楽研究会	8/8	平成29年度 幼児音楽教育	2
	日本インリアル研究会	5/13	インリアル概論	6
		6/10	コミュニケーションを考える	5
		7/8	コミュニケーションの発達段階	4
		9/9	言語心理学的技法	5
		2/10	会話分析	2
童	日本知的障害者福祉協会相談支援部会	10/16	社会保健福祉施策の動向	1
	日本保育協会	6/28	保育所保育指針及び教育・保育要領の改訂ポイント①	1
		7/12	保育所保育指針及び教育・保育要領の改訂ポイント②	1
施	日本保育協会大阪支部	1/12・1/23	乳児保育研修 「保育所保育指針改定・教育保育要領改訂をふまえて」	1
	日本保育教会大阪支部	7/14	幼児の健康と安産面の講習と実技	2
	ひかりのくに	8/3	幼児教育大講習会	1
	保育ソーシャルワーク学会	11/11	第4回研究修大会	6
	ポーターズ早期教育プログラム	1/19~21	ポーターズプログラムの概要、応用行動分析学、課題分析など	1
	都島区子どもの読書活動推進連絡会	9/26	区内における子どもの読書における現状と課題	1
	都島区社会福祉協議会	7/20	生活主体者としての障がい者への意思決定、表明支援と権利擁護	2
		12/7	子どもの障害について考えよう	3
	都島区社会福祉施設連絡会	7/20	障がい者の意思決定支援と権利擁護	5
	都島区地域自立支援協議会こども部会	10/2	障がい児の性について	5
	都島消防署内	12/8	平成29年度都島3協議会合同研修会(普通救命講習)	8
	大阪市私立保育園連盟	10/31	認定こども園 教育・保育要領研修会	5
	都島区	6/30	都島区食育推進連絡調整会議	1
3/19		子どもの食育について	1	

《沖縄》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
法 人 内	渡保育園 松島保育園	4/1	子どもの発育と子どもの病気について(嘱託医研修)・保育について	25
		5/19	理事長研修	32
		6/22	虐待についてと各年齢の保育の進め方について	22
		9/16	子どもの感染症と各クラスの保育について	23
		11/17	アレルギーについて	32
		1/6	園外研修報告と改定保育指針についての10のポイント	30
		3/31	前年度の振り返りと新年度に向けて	31
外 部 研 修	沖縄県私立保育園連盟	6/17	那覇ブロック園内研究発表会	2
	心と体の成長科学研究所	6/24	「食物アレルギーヒヤリハット事例から学ぶ園・学校の食物アレルギー対応」について	2
	那覇市園長会	7/11	調理員研修会「アレルギー代替食の作り方、アレルギーについて	2
	那覇市子どもみらい課	8/6	保育士研修「パネルシアター」	3
		8/8	保育士研修「食育について」	2
		8/22	給食施設の衛生管理について	4
		8/30	防災研修会	2
		9/26	就園・就学に向けて「育ちの確認・滑らかな連携」	3
	浦添市役所	12/21	乳児の疾患と予防接種について	4
		10/1	保育所保育指針の改定について	4
2/3		第44回保育研究大会	6	
沖縄県社会福祉協議会	2/4	第44回保育研究大会分科会	6	

《高齢者施設》

	主催者	研修日	研修タイトル	参加人数
外 部 研 修	NPO ホットスペース中原	11/6	看取りにおける尊厳を考える	1
	医誠会病院	11/18	心地よい姿勢のための基礎知識	1
	大阪介護福祉士会	6/13~14・7/10~11 7/18	介護福祉士実習指導者講習会	1
	大阪市福祉局	6/22	平成29年度社会福祉法人・社会福祉施設監査説明会	2
	大阪市保険所 感染症対策課	5/16	HIV感染症・AIDSの理解を深めましょう	1
	大阪市立総合医療センター	6/10	多職種との連携を広めよう	1
	大阪市老人福祉施設連盟	6/16・7/7	新人職員対象介護技術研修会	1
		7/3	雇用関係助成金の活用術	1
		10/25	介護とは何かを考える	1
		11/13	感染症対策！蔓延する冬に備えて	2
		11/24	認知症基礎研修	1
	大阪府栄養士会	4/23	平成29年度大阪府栄養士会生涯学習研修会	1
	大阪府社会福祉協議会	9/4	地位共生社会の実現に向けて～我が事丸ごとの地域づくり	1
	大阪府社会福祉協議会	1/24	平成30年度介護福祉士修学資金貸付事業内容	1
	介護支援専門員更新研修	6/6	大阪府介護支援専門員協会	1
	株式会社 雲母書房	10/18 11/18	終末期ケアと家族との関わり	2
	クリスタコーポレーション	10/28	凍結含浸法について	1
	全国社会福祉法人経営者協議会	9/25~26・11/13~14 1/17~18	平成29年度 全国経営協「経営塾」	1
	総合ユニコム株式会社	9/7	2018年度「介護報酬改定」の見通しと事前対策	2
	日本地域福祉施設協議会	2/16	当事者の視点からセツルメントを学ぶ	1
日本看取り士会	10/20	看取り士～多死社会に向けた看取りを支える人材育成	1	
福祉と人権の研修ネットワークおおさか	6/7	感染症・食中毒予防対策講習会	1	
都島区医師会	6/3	都島区在宅医療講習会	1	
都島区在宅医療・介護連携推進 事業研修会	8/26	都島区における基幹病院の地域医療連携の現状と今後の地域包括 支援システムを推進する上での課題	2	
都島消防署	6/22	救命救急講習	14	
ライフマーク守口	7/28	食べる姿勢を考える	1	
都島区社会福祉施設連絡会	7/20	障がい者の意思決定支援と権利擁護～障害者差別解消法の合理的配慮について	4	

《法人内研修》

	担当(部会)	研修日	研修内容	参加人数
児 童 施 設	認定こども園 都島児童センター	4/4	平成29年度体育活動について	8
		4/18	ハンドブック研修 新人職員対象	2
		4/20・6/12	男性職員勉強会	2
		5/24	ハンドブック研修 非常勤職員対象	12
		6/1・6/21	日本保育協会 実践報告研究「サーキット遊びを通しての育ち」	5
		7/21	阪大生研究発表 「子ども同士のあそびでの譲り合いについて」	6
		11/17	理事長講和	24
		2/16	AED・救命救急研修	30
	都島児童センター 都島乳児保育センター 都島第二乳児保育センター	4/1	ハンドブック・離乳食食べさせ合い	42
	友渕児童センター	3/30	職員研修(労働時間・勤務体制等について)	21
		8/30	心肺蘇生法(キット使用)	27
	友渕児童センター 都島友渕乳児保育センター	4/1	職員研修(平成29年度事業計画・職員ハンドブックに沿って・基本 理念・サービス規則・保育者としての心掛けること ビジネスマナー)	33
		9/6	理事長講話	33
	都島友渕乳児保育センター	4/3	保健衛生について	2
		3/30	新人・異動職員研修(当番について)	2
成育児童センター	9/4	感染症(手足口病・RSウイルス)について	16	
	11/27	食物アレルギー・エピペンについて	18	
	12/25・12/27	胃腸炎について	18	
都島桜宮保育園	3/31	職員の心得(正規職員・契約職員)職員ハンドブックに沿って ・基本理念・サービス規則・保育者としての心掛け・ビジネスマナーのロー ルプレイング	21	
	4/1	事業計画・あそびは学び・危険箇所ツアー	21	
	4/4	体育補助研修	23	
	4/15	音楽研修(カラーガード)	7	
	4/17~18	職員の心得(非正規職員)	15	
	4/20	清掃手順・ケガ対応・あそび研修	21	

《法人内研修》

	担当(部会)	研修日	研修内容	参加人数
児 童	都島桜宮保育園	4/28	安全管理 危機管理研修	21
		5/17	音楽研修(和太鼓)	7
		7/10	救命救急	35
		9/27	職員研修(子どもへの関わり、保護者対応ーロールプレイング)	21
		11/15	理事長講話	21
		12/27	AED使用方法研修会	35
施	都島東保育園	3/30	職員ハンドブック	15
		5/15~19	sids対策研修	22
設	こども発達サポートステーションそ れいゆ	10/12	児童発達支援センターの役割について	12
		11/8	子どもの発達障がいについて考えよう	5
		11/17	障がい者の虐待の理解と防止について	12
		11/24	より深い理解とより適切な支援を目指して 言語聴覚士より	12
		3/23	teacchの取り組みについて	12
高 齢 者 施	特養ひまわりの郷	7/7	第1回感染症対策研修会	13
		9/8	褥瘡予防対策職員研修会	14
		9/21	看取り研修～加藤施設長から実践を聞く	13
		12/8	第2回感染症対策研修会	12
		2/11・2/20・3/11 3/18	看取りについて	24
		3/15	高齢者虐待について	27
設	デイひまわり	6/19	高齢者の虐待防止について	3
		10/6	冬に流行する感染症	14
		11/30	吐物処理方法の実践	12
	比嘉正子地域貢献事業研修セン ター	6/22・6/28・7/12 7/27・8/9・8/23	管理職研修	27

平成29年度 アウトリーチ型職員研修

比嘉正子地域貢献事業研修センター

保育施設に求められるニーズも多様化・複雑化する中で、より専門性の高い職員の育成が必要であり、保育現場においては、各年数の職員が職務内容に応じた専門性の向上や、キャリアパスを見据えた職位の整備(処遇改善)、リーダー的役割を担う中堅層の保育士・保育教諭の育成が今後より重要になっています。専門性が評価される仕組み(キャリアパス)の構築に向けて研修体系を作成し、保育士自身が実践的能力を身につけることを目的としています。

	分野	研修テーマ(案)	対象職員	日 時		講師	担当
				A	B		
1	人権	子どもの権利は守られているのか?	全職員	4月26日(水)		ディサービスひまわり 國松施設長	海老子
2		認知症サポーター養成講座	6年目～	7月14日(金)		都島区社協	海老子
3		今、男性保育士を改めて考える	全職員	7月20日(木)		大阪教育大学 准教授 小崎恭弘	岡本
4	乳児保育	絵本と乳児	1, 2年目(乳児クラス担当)	5月29日(月)		絵本あれこれ研究家 加藤啓子	山口 千代・岩本
5		乳児マニュアルの活用①	1年目～3年目(乳児クラス担当)	8月22日(火)	8月29日(火)	都島友の会 主任 岩本・千代	山口 千代・岩本
6		おいたちの記等 の記録	1年目～5年目	9月5日(火)	9月12日(火)	都島友の会 主任 西田・山下	山口 千代・岩本
7		乳児マニュアルの活用②	1年目～3年目(乳児クラス担当)	12月12日(火)	12月19日(火)	都島友の会 主任 岩本・千代	山口 千代・岩本
8	幼児教育	養護と教育(発見)	4年目～(幼児クラス担当)	5月30日(火)		大阪総合保育大学 教授 大方美香	丸山・岡本
9		絵本と幼児教育	幼児クラス担当	6月13日(火)		絵本あれこれ研究家 加藤啓子	丸山・岡本
10		幼児教育の現場から	4年目～(幼児クラス担当)	8月31日(木)		東保育園 成育児童センター	丸山・岡本
11		養護と教育	4年目～(幼児クラス担当)	11月20日(月)		大阪総合保育大学 教授 大方美香	丸山・岡本
12		養護と教育(記録)	4年目～(幼児クラス担当)	2月20日(火)		大阪総合保育大学 教授 大方美香	丸山・岡本
13	障がい児保育	制度&障がいの理解	6年目～	10月12日(木)	10月19日(木)	こども発達サポートステーション せいのゆ 仲田施設長 心理士:角守	仲田
14		療育について	4年目～	11月6日(月)	11月9日(木)	こども発達サポートステーション せいのゆ 櫻井主任	仲田
15	食育	今日の給食から	1年目～3年目	7月25日(火)	8月8日(火)	都島友の会 管理栄養士 竹中	比嘉・竹中
16		食事提供	1年目～3年目	2月14日(水)	2月23日(金)	都島友の会 管理栄養士 竹中	比嘉・竹中
17	安全対策	防災・減災 事故防止及び健康安全管理 保育時間中に...	6年目～	5月11日(木)	5月25日(木)	都島区防災	白井
18		施設における事故防止及び 事故発生時の対応	4年目～	12月22日(金)	1月11日(木)	都島友の会 主任	千代・林
19	保健衛生	感染症(肝炎含む)関係	1年目～3年目	5月16日(火)	5月23日(火)	都島友の会 看護師	吉本
20		応急手当	4年目～	6月6日(火)	6月20日(火)	都島友の会 看護師	吉本
21		アレルギー関係	1年目～3年目	7月5日(水)	8月2日(水)	都島友の会 看護師	吉本
22	保護者支援 子育て支援	それぞれの違いの理解と 保護者支援の窓口の役割	6年目～	6月26日(月)		武庫川女子大学 教授 倉石哲也	島元・錦城
23		相談援助について考えてみましょう	3年目～5年目	7月11日(火)	7月18日(火)	武庫川女子大学 教授 倉石哲也	山下・李
24		相談援助を实のあるものに	3年目～5年目	11月14日(火)	12月5日(火)	武庫川女子大学 教授 倉石哲也	島元・仲田
25		地域子育て支援	管理職・リーダー	1月29日(月)	1月30日(火)	武庫川女子大学 教授 倉石哲也	守屋・西田
26		子ども相談センターの活動	4年目～	12月26日(火)		子ども相談センター	守屋・西田
33	マネジメント	組織マネジメントの理解	管理職・リーダー	1月15日(月)		大阪教育大学 准教授 小崎恭弘	岡本
34	保育実践	ふれあい遊びを通じて	1年目～3年目	5月19日(金)	7月28日(金)	(株)ウエルネス	瓜坂
35		音楽の取組み	幼児クラス担当	6月23日(金)		友洲児童センター職員	池上
36		3歳児公開保育(音楽リズム)	幼児クラス担当	7月26日(水)		友洲児童センター職員	池上
37		4歳児公開保育(音楽リズム)	幼児クラス担当	11月28日(火)		友洲児童センター職員	池上
38		5歳児公開保育(音楽リズム)	幼児クラス担当	2月27日(火)		友洲児童センター職員	池上
39		絵画制作	1年目～2年目	7月3日(月)	9月19日(火)	臨床美術士 花本直子	白井
40		言語表現	復帰職員	10月25日(水)		絵本あれこれ研究家 加藤啓子	瓜坂